本校がめざす生徒像と

教育目標に到達するためのキーワードについて

本校の教育目標は次の通りです。

すすんで学ぶ人となる

健康な人となる

心豊かな人となる

この教育目標を体現した生徒を次のように考え、めざす生徒像として掲げました。

- ・自ら判断し自主的に行動できる生徒
- ・自分自身の健やかな成長を意識して行動できる生徒
- ・自他の違いを認め尊重できる生徒

なぜ、この3つがめざす生徒像なのかというと、自ら判断し自主的に行動できる生徒は進んで学ぶことができる。また、自分自身の健やかな成長を意識して行動できる生徒は健康な人となれる。さらに、自他の違いを認め尊重できる生徒は心豊かな人であると考えているからです。

「進んで学ぶ人になる」ために必要な能力を「自主性」と考えています。「自主性」のある人は、学ぶということに関して自分自身の判断で積極的に学ぼうとします。「自主性」のある人は、勉強や勉強以外のことでも興味や関心を持ったことについて積極的に学ぼうとします。ですから「自ら判断し自主的に行動できる生徒」をめざすことによって「自主性」が身につけば、進んで学ぶ人となれるのではないかと考えます。

「健康な人となる」ためには、自分自身が健やかに成長するために、自らの行動を自分自身で意識的にコントロールすることが必要です。簡単に言ってしまうと、健康に悪いことはしない、誘惑に負けないという強い意志を持つということです。自分自身の健やかな成長を意識して行動するために必要なのは「自律」できる能力です。ですから、「自分自身の健やかな成長を意識して行動できる生徒」をめざすことによって「自律」できる能力が身につけば、健康な人となれるのではないかと考えます。

「心豊かな人」になるために必要な能力を「想像力」と考えています。「想像力」を働かせて相手の立場に立って考えてみる。そうすると、相手のことが理解できるようになって、自分と違う相手のことも尊重できるようになるとと思います。「想像力」を働かせ「自

他の違いを認め尊重できる生徒」になれば「心豊かな人」になれると考えます。また、自分自身の創造力を磨き、「創造力」を身につけることも「心豊かな人」になるために大切なことであると思います。

このように、秋葉台中学校の教育目標にある「進んで学ぶ人となる」ためのキーワードは「自主性」。また、「健康な人となる」なるためのキーワードは「自律」。そして、「心豊かな人になる」ためのキーワードは「想像力」「創造力」であると考えています。

2023年（令和5年）4月

藤沢市立秋葉台中学校

校長 千葉 雄一